

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	会津若松市立行仁小学校等施設整備方針策定支援及び基本設計業務委託		
委託期間	契約締結日 ~ 平成30年3月20日	担当課	教育総務課
受託候補者	株式会社 白井設計		

2 提案等の審査結果

審査日	提案書審査	平成29年7月18日	ヒアリング審査	平成29年7月18日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・二瓶 賢一 (福島県立会津工業高等学校 校長) ・神田 順一 (会津若松市立行仁小学校 校長) ・大島 誠治 (行仁小学校改築推進委員会 委員長) ・山口 城弘 (企画政策部企画副参事) ・松川 和芳 (建設部建築課長) 			
審査方法	<p>選考委員5名全員が出席し、提案者4者からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、審査基準に基づいて各委員が個別に評価を行った。</p> <p>選考委員5名中、5名の委員が最高の評価点を付与した参加者を受託候補者として選定した。</p>			
選評	<p>提案者については、4社ともに学校建築に関する設計の実績があり、豊富な経験や知識を有していることを確認した。</p> <p>以下、4社の選評を記述する。</p> <p>○最優秀者(受託候補者):株式会社 白井設計 施設等の配置について、3階ヘプールの配置等敷地を有効活用し、各機能毎の専用出入口やセキュリティゲートの設置等、防犯面にも配慮した具体的な提案がされている。</p> <p>また、模型や3Dモデルを活用したワークショップの実績もあり、地区住民との対話を重視したより良いアイデアを誘発するワークショップの開催が期待できる。</p> <p>さらに、基本設計策定までのプロセスやワークショップのテーマ等、具体的な計画を示しており、将来を見据えた計画的な支援が期待できる。</p> <p>○次点:有限会社 佐藤建築設計事務所 1回部分を地域開放のフロアとし、明確な管理区分を行うことで、使いやすい配置計画となっている。</p> <p>また、工事範囲を明確に区分し、児童の安全に考慮した計画となっている。</p> <p>全体的な木質化した学校とすることで、ぬくみのある学校となっているが、コスト面、防災面で不安が残る。</p>			

	<p>○有限会社 吉田建築計画事務所 木質化した学校とし、屋上に緑化スペースを整備する等、緑豊かな学校となっている。ワークショップについては、小人数でテーマを分けて行う提案であったが、具体的な開催のタイミング等について不明確であった。</p> <p>○株式会社 創ライフ研究室 景観に配慮した2階建ての学校となっている。利用時間に応じてシャッターを閉じるなどセキュリティ面にも考慮した提案となっている。 また、地区住民との合意形成の回り方については、一般的な内容と感じられ、具体的な提案が伝わりにくい内容であった。</p>
--	---

3 選考結果

参加者名 (受付順)	評価点					最高点採点者数又は合計点
	1:事務所の 実力	2:提案 チーム能 力	3:技術提 案書の提 案内容			
(株)白井設計	90	44	287			5人／5人中 421点／500点中
(有)吉田建築 計画事務所	60	27	244			0人／5人中 331点／500点中
(有)佐藤建築 設計事務所	60	22	251			0人／5人中 333点／500点中
(株)創ライフ研究室	75	28	226			0人／5人中 329点／500点中
						/
						/

※ 各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。